

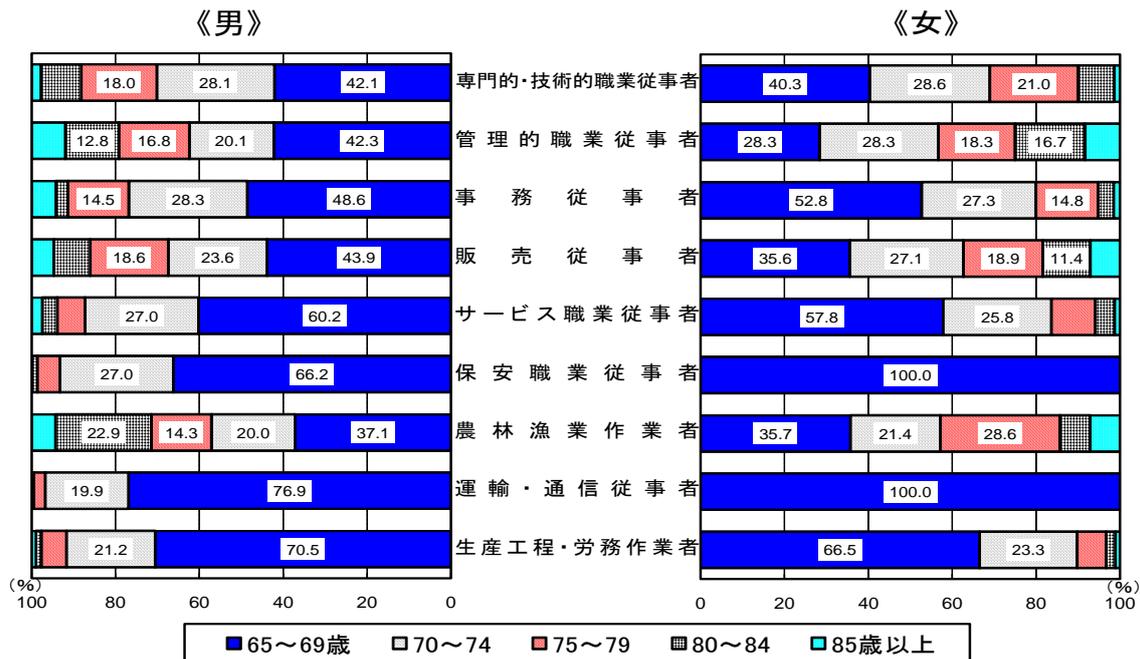
2 職業

(1) 高齢単身就業者

—いずれの職業においても「65～69歳」の割合が最も高い—

65歳以上の高齢単身就業者について、職業大分類、男女の区分を分けて年齢（5歳階級）別の就業者割合をみると、いずれの職業においても「65～69歳」の割合が最も高くなっています。また、多くの職業で「70～74歳」の割合が2番目に高くなっていますが、「農林漁業作業員」については男性では「80～84歳」（22.9%）が、女性では「75～79歳」（28.6%）が、「70～74歳」を上回っています。（図3）

図3 職業（大分類）、男女別高齢単身就業者の年齢（5区分）別割合（H17）

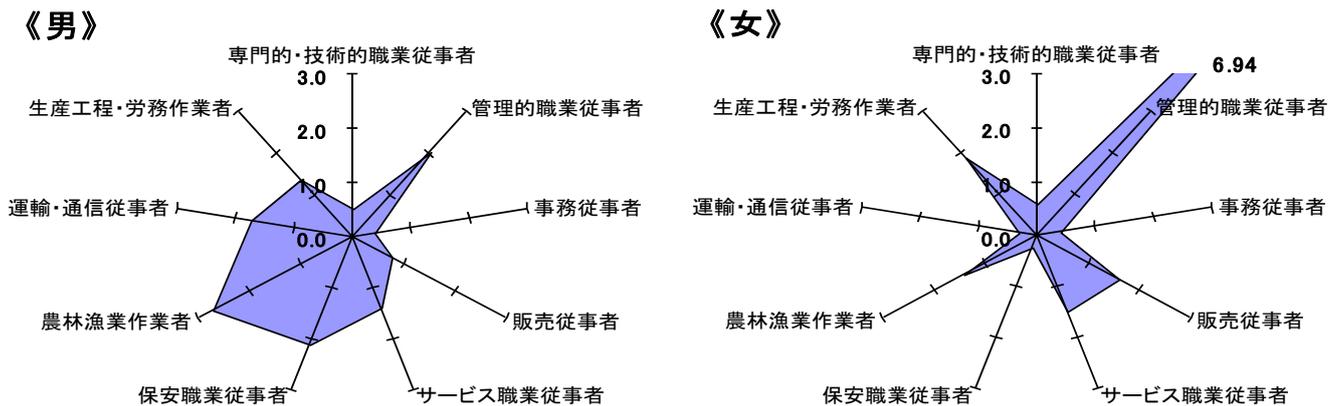


注)「分類不能の職業」を除く。

—男性は「農林漁業作業員」、女性は「管理的職業従事者」の特化係数が高い—

職業大分類別の就業者割合を、本市に常住する15歳以上就業者総数の割合に対する、高齢単身就業者の割合を示す特化係数（1を超えると集積の高さを示す）を用いて男女別にみると、男性では「農林漁業作業員」（2.74）が最も高く、続いて「保安職業従事者」（2.13）、「管理的職業従事者」（2.05）が2を超える一方、「事務従事者」（0.37）が0.5を下回っています。女性では「管理的職業従事者」（6.94）が突出しており、続いて「生産工程・労務作業員」が1.89となっていますが、「保安職業従事者」（0.23）、「運輸・通信従事者」（0.31）及び「事務従事者」（0.40）が0.5を下回っています。（図4）

図4 職業（大分類）、男女別高齢単身就業者の特化係数（H17）



注)「分類不能の職業」を除く。

(2) 従業上の地位

—いずれの地位においても、「事務従事者」は女性が男性よりも多い—

15歳以上の就業者について、従業上の地位（5区分）、職業大分類を分けて男女別の就業者数をみると、「雇用者（常雇）」では、「事務従事者」及び「サービス職業従事者」において女性が男性を上回っていますが、「生産工程・労務作業者」をみると女性は男性の約4分の1（25.2%）となっています。「雇用者（臨時雇）」では「専門的・技術的職業従事者」「事務従事者」「販売従事者」「サービス職業従事者」において女性が男性を上回っており、特に「事務従事者」では男性は女性の約5分の1（20.8%）となっています。

「役員」及び「自営業」では「事務従事者」のみ女性が男性を上回っていますが、「家族従業者」では「保安職業従事者」、「運輸・通信従事者」を除き、他のすべての職業で女性が男性を上回っています。

(図5)

図5 従業上の地位(5区分)、職業(大分類)、男女別15歳以上就業者数(H17)

